

南医療生活協同組合の近未来構想」をつくりあげる、定例・公開の

第4回

7/21

10万人会議

に、あなたもごいっしょしませんか

毎月第3土曜 午後2時～

コープ健診・フィットネスセンター3F

名古屋市緑区大高町平子36 南生協病院施設内

テーマ：地域での“ターミナルケア”施設は可能か？南医療生協が考える住宅とは？
シンポジウム「在宅死を考える」

報告Ⅰ

- 「地域での在宅医療の取り組みについて」平松義文・星崎診療所所長
- 「在宅看取り事例について」訪問看護ステーションより
- 「終末期医療の課題について」長江浩幸・南生協病院院長

報告Ⅱ

「ホームホスピス愛逢（あいあい）」（兵庫県尼崎市）での実践報告

NPO 法人・愛逢 かねゆき 兼行 えいこ 栄子 理事

*コーディネーター：山本直彦・有松診療所所長

地域ホスピスの実践例について、兵庫県尼崎市でホームホスピスを運営されている特定非営利活動法人・愛逢の兼行栄子理事より報告いただきます。南医療生協の在宅や終末期医療の活動報告も交え意見交換を行います。地域でのターミナルケア、そのための住宅や施設づくり、まちづくりのあり方など皆さんと考える場にしていきたく思います。



ホームホスピス愛逢の家ブログより

第5回は、8月18日（土）14時～「①“地域ホスピス”のあり方とは②協同組合がつくる地域高齢者住宅のハードとソフト」のテーマで、グループワークを行います。